

Okahata

NEWS LETTER

Business updates, new ideas and more
from Okahata

2022
06

Fish
where
the fish
are.

釣れますか？



In case you missed

今月の Okahata News

CONTENTS

HEADLINES



マークを
クリックして
WEBへ

2022.06

化学品

コンテンツだけじゃない、世界の三河屋／岡畠興産。
韓国でもインドでも、仕掛けまくり中。
どこ展も怒涛の商品拡充中。ぜひ、覗いてみてください。

興産 ブログ

- 岡畠コリア 韓国ソーシングとヘアケアラボ [☞ Click](#)
- アクリルアミド from インド [☞ Click](#)

トピックが化学工業日報で紹介されました [☞ Click](#)

どこ展 DOKOTEN

- アクリルアミド(粉体) by インドBR [☞ Click](#)
- 撥水皮膜型水溶性水切り剤 by キレスト [☞ Click](#)
- (物性をいじれる)ポリエステル [☞ Click](#)
by 今は言えません!

フットウェア

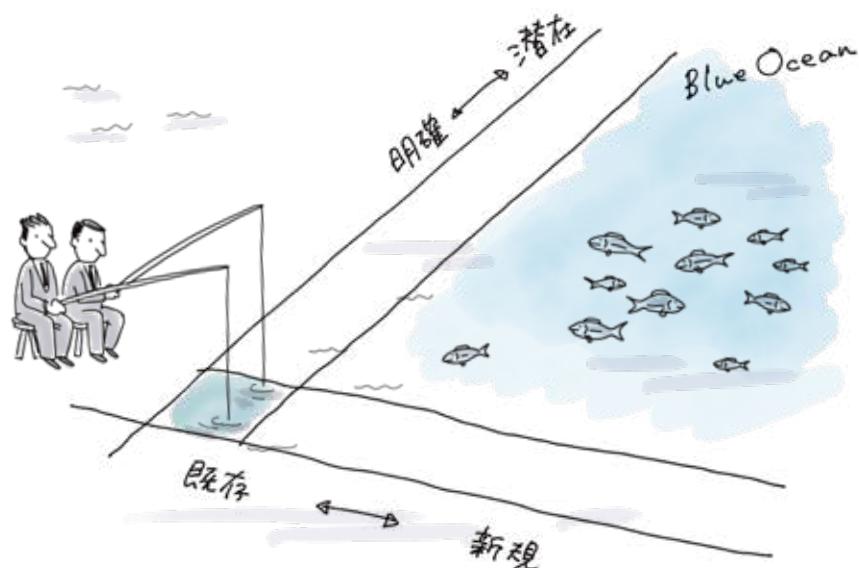
専門学校との面白コラボや、SDGs素材、ゴルフインソールと、バラエティに富む1ヶ月。Gucciサンダルの加水分解が話題になり、過去記事へのアクセスも大幅アップ。
さすが、靴の専門知識ブログといえば、くつナビ!
気になる記事があれば、クリックお願いします!

くつ ナビ

- ヒコみづの&岡畠興産(くつナビ) [☞ Click](#)
SMILE SHOT PROJECT
- PFCフリーとは? [☞ Click](#)
PFCの問題やPFCフリーの現在の取り組みとは
- 自然に還る生分解性樹脂への置き換え [☞ Click](#)
- ゴルフ市場へ参入! キュボイドバランス理論 [☞ Click](#)
BMZのアシストゴルフインソール
- スニーカーの加水分解とは? [☞ Click](#)
起こる原因や防ぐ方法、修理法も解説

FISH WHERE THE FISH ARE と、 まだ見ぬ君と課題のマトリックス。

岡畑典裕



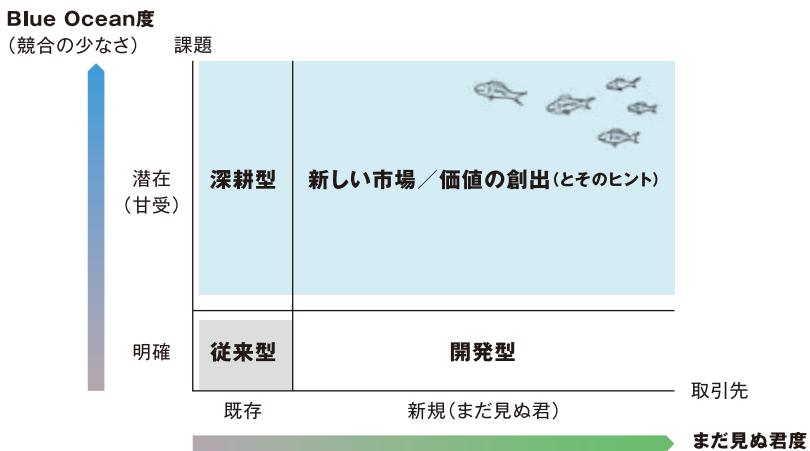
前号のコンテンツSEO裏話(ヒツミキ)から一転、今月来月は、ONLの原点、世界の三河屋からの現地レポ。今月は上海ロックダウン日記と、完全復活なベトナム靴工場出張報告をお届け。

と、その前に、山を走る社長が語る、釣りの話。

先月、比叡山トレイルレース(80km)を無事完走した翌日に財布を紛失。総務と妻にめっちゃ怒られ、ションボリ気味、デジタル三河屋店主、岡畑典裕です。

さて、今月は **FISH WHERE THE FISH ARE.**
うちの米本曰く、“魚のおるところに、糸を垂らさなあかん”
という話。

[“まだ見ぬ君”と課題のマトリックス]



開発営業では、新たな需要やイノベーションの“魚”が泳いでいるところに“糸を垂らさなかん”のに、どこに泳いでいるか分からぬのを言い訳に、慣れ親しんだところ（“まだ見ぬ君と課題のマトリックス”の左下）に、糸を垂らし続けてるケース、結構ありませんか？

▼マトリックスの見方

- 日々の営業活動は、**左下**。
既存のお客さまの、明確課題への取組。
ここには、“まだ見ぬ君”も、“ブルーオーシャン”（甘受している潜在課題）も、泳いでいません。
- 僕らが**コンテンツという糸を垂らしたい**のは、
新しい需要が泳ぐ、**上（ブルーオーシャン）、右（まだ見ぬ君）ゾーン**。
新しい魚を釣り上げる、イノベーション創出型商社へ。
それが、デジタル三河屋/岡畑興産の本当の狙いなのです。

今日もせっせと、24時間（そう、コンテンツは24時間営業）、糸を垂らし続ける、働き者の岡畑興産は、一緒に糸を垂らしてくれる仲間を絶賛募集しております。

[Click ➔ 岡畑興産株式会社 採用情報](#)

今月も読んでいただき、ありがとうございます！

岡畑興産ならではの、上海とホーチミン/ハイフォンからの現地レポを、お楽しみください。

化学品からは

上海ロックダウン日記

Report by 張 魏

振り返ると、
昨年11月の中国電力制限が悪夢のはじまり。

異変は、ロックダウンの数週間前から。2500万人を巻き込んで、ゼロコロナの目標に向かって突っ走る上海の様子を、時系列でお伝えします!

3月6日の夜：

突然、住宅団地全員(数万人)が外に集められ、全員PCR検査へ(なんの説明もなく、本日中にやると言い放った夜の9時。。。)。



3月28日：

絶望感しか並んでない、スーパーの棚。



4月1日:

いよいよ上海全域のロックダウン開始。“5日間の我慢”という甘い期待は脆くも裏切られることになろうとは、2500万人の市民は、この時点で知る由もなく。

4月6日:

ロックダウン期限が過ぎましたが、解除の気配ゼロ。**やばい、食料がない**。このまま、嫁と息子と3人で餓死してしまうのか???正直、**人生一番の恐怖**を感じました。

2か月間の配給物資の写真は、ブログにて公開中です
ので、ぜひ。 興産ブログ 上海ロックダウン日記  [Click](#)

数字で見る ロックダウン生活

強制PCR検査回数: 25回

突然 Wechatで呼び出されるので、Web会議を途中で抜けること数知れず(対不起)。

コロナ検査キット実施回数: 100回以上

毎日綿棒で自分の鼻の奥を刺し続けると、癖になってしまい、今では、やらないと一日すっきりしません。



6月1日:

待ちに待ったロックダウン解除の日。自由を嗜み締めようと思った矢先に、“72時間ルール”発表。。。出社、交通機関・公共施設・スーパーの利用には72時間以内のPCR陰性証明が必要となりましたが、採取起算なので、実際の有効期間はかなり短く、これからは“出勤前もPCR行列”が生活の一部に。。。



6月末まではPCR検査は無料ですが、7月1日以降16元/回の有料化という噂も。72時間ルールが継続すれば、一人当たり年間約120回、3人家族のPCR検査費用は5760元(約10万円)。。。

ビジネスは回復基調

弊社の出社率:感染キツめな徐匯区の要求に従い、約30%の当番制。(上海平均は70%~80%位かと)

化学工場の稼働率:後述する物流の影響も受けつつ、ざっくり80%弱。

化学品原料の動きは約50%。トラックと運転手の確保がネックになっています。その原因は“7+7”ルール。“7+7”とは、上海(やその他感染指定エリア)に乗り入

れると、7日間隔離+7日間自宅観察せよ、というルールのこと。省や市によっては、7日間自宅観察のみだつたりしますが、いずれにせよ、他省の運転手は、上海入りの仕事は絶対やりたがりません。ということで、

いつもの、“上有政策、下有対策”

対策①：

運賃を高く払って、トラック確保

対策②：

省境で、荷物の積み替えする“リレー方式”。バトンならぬ原料を繋ぎ、運転手が省を跨がないで済む仕組みが出来上がりつつある様です。

対策③：

工業園区の許可を得れば、上海運転手が他省園区まで原料を取りに行くスタイルも可能。この場合、上海運転手は、トラックから降りさえしなければ、隔離は不要です。

対策④(というか荒技)：

高速を降りずに、SAでの貨物渡し(あくまで聞いた話)。

不安な日々と、戻らないもの

ロックダウン解除後、スーパーは開業し、餓死することはありませんが、不安の絶えない日々は続きます。

① 経営上の不安：

トラックや原料確保のための追加コスト。港/空港の制限による輸出入業務の効率低下や遅延。貿易商社的には、サンプル送付もままならず、北京経由、広州経由、香港経由で送ったり、いちいち全てがスクランブル状態で、時間とコストが。。。

② 両親の不安：

学校はまだ再開しておらず。夏休み明け、9月以後の見通しが立たず。先が見えないのが一番ツライ。

③ 病院にかかる不安:

PCR陰性証明がないと、診察を受けられません。たとえ、交通事故で救急搬送されたとしても。。。

ビジネスや人、工場の動きは戻りつつありますが、安心して生活できる普通の日々が戻ってくるのは、もう少し先かも知れません。その頃には、私の髪も戻ってくれればいいのですが。



現場からは以上です。

(岡畑上海 張 魏)

これまでにお伝えしてきた現地レポート

- ONL限定コンテンツも盛り沢山。
バックナンバーはこちら！ [Click!\[\]\(d691176a0c8c25c55a5ec880b4a44829_img.jpg\)](#) **ONL**
(パートナー登録、よろしくお願ひします)
 - ゼロコロナレポの代表作
[Click!\[\]\(50393fa01f5ebc8966174fff3428b8d8_img.jpg\)](#) **@興産ブログ、隔離日記**

(Click ➔ Twitterもあるよ)

フットウェアからは

ベトナム靴工場 出張日記



前回までのあらすじ:

ONL18(21年11月号)では、ベトナムの寸断された
靴サプライチェーンの様子を。 [Click ➔ くつナビ](#)

今回は、その続報:

弊社の品質管理マネジャー(くつナビ編集長!)が、海外出張の先陣を切って現地を突撃訪問。結論から言うと、プレコロナの活況に戻ったようで、完全復活。大手海外ブランドの大規模工場が集中するホーチミンのほぼ全ての工場がキャバに対して9割方埋まっている状況。半年前のロックダウンから力強く復活していました。当社の主力工場が位置するハイフォン地区も、完全に元通り。半年前の、靴材料も届かず、労働者もいなかつた惨状がウソのように、人もモノも、完全復活。

コロナ鎖国の2年間でさえ、イオンモールやら大型ビルがニヨキニヨキ建設され、経済活動(力ネ)もちゃんと動いておりました若き新興国之力強さは、別次元でした。。。



ベトナムのほぼ全ての靴工場はビジターを受け入れ、規制もなく訪問可能。我々のライバルの台湾、韓国の材料メーカーなどは堰を切ったように売込訪問していますし、ホーチミンでは、韓国人、台湾人が闊歩するのをよく見かけましたので、海外ビジネス出張、往来も以前の状態にもどっているよう。

久々の工場訪問：バーチャルと比較して

この2年間、ベトナムでの靴開発や生産現場の仕事を、無理矢理バーチャルでこなしてきましたが、現地に赴いて、自らの**“広角な“目線とセンサー”**で、現場/空気/人を感じないと、見誤ることが多い事を、改めて実感しています。

④ 工場現場

分かってはいましたが、バーチャルでは、相手が見せたい現場をピンポイントでしか見せてもらえず、結局、相手の目線(往々にしてその低さ)に依存していますが、我々が足を運べば、目に飛び込んでくるもの全てから、我々目線で気になることを“掘り葉掘り”が可能!人間の持つ**“広角な“目線とセンサー**はやっぱり優秀で、バーチャルで拾いきれてなかつた課題と改善点が見つかった、実りある訪問となりました。



⑤ 人

画面を通じたコミュニケーションだけでは、人間性の本質はやっぱり掴んでいませんでした。海外工場とのパートナーシップは、繊細な綱渡り。相手の性格に合わせて、押したり引いたりするには、バーチャルのみでは、限界あり。相互に分り合うには、「**後は野となれ山となれ**(後述)」式な宴会もやっぱり重要です。

ちなみに、コロナ中に現地採用したスタッフと今回初対面してみたら、イメージが全然違ってびっくり(寡黙だと思ってたら、活動的でちゃきちゃきした人でした)。

蒸し暑さと笠帽子と、「野となれ山となれ」

工場内もマスク着用義務はありませんが、我々が訪問時はほとんどの方が着用していたことから、工場管理者が指示したものでしょう。

今の季節、亜熱帯性気候のベトナムは、何もしなくてもモワッと蒸し暑く、工場内は更に高温高湿で、生産現場を回るとすぐにマスクが汗で湿ってしまいます。

工場内の至るところに大小様々な換気扇が設置されており、感染がほぼ1周して集団免疫を獲得しつつある安心感も手伝ってか（実際にパートナー工場では4月以降、コロナ感染による欠勤者ゼロ）、マスク着用は本人に委ねられているのも頷けます。

マスクをしないけど、笠帽子はかぶっている工員さんもいたりして、その理由はまだ調査中ですが、ベトナム感たっぷりで微笑ましかったりします。



レストランや公共の場所もマスク着用義務はなく、以前の状態にまるつきりもどった状態。高温多湿の地域ですので、マスク常時着用ももうしんどいのかもしれません。レストランに入れば、接客係から厨房までノーマスクで、料理を取り分ける箸がなく直箸。戸惑ってる間に、どんどん料理を取り分けてくれるので、覚悟を決めて「あとは野となれ山となれ」です(苦笑)。

column

日本人目線での驚きは、手指消毒用アルコールも非接触体温計も、市中にはほぼ皆無。(ホテルやイオンモールに散見されるくらい。)

ノーマスクで密密な状態のモールには、「なかなか悪いところに来たな」と違和感。

ビジネスシーンでは、挨拶でのガツツリ握手にもドギマギな、まだまだコロナ中な日本人を感じるのでした。

復活からのリストア&アップデートが鍵

フル稼働かそれ以上の需要が舞い込んできているベトナム靴工場の活況を目の当たりにするにつれ、ソーシングを仕事にする弊社としては、**生産枠の確保**に頭を悩ませそうです。

昨年夏以降、欧米からの旺盛な需要はありましたので、あの時の機会損失を取り戻すぞとばかりに、各工場ともフル稼働以上でどんどんいきまっせ状態と鼻息の荒さ(と景気の良さ)がジンジン伝わってきます。輸送面でも荷物はさばけており、ベトナムの靴産業はもう完全復活といつてもよいでしょう。

景気がいい時こそ、地に足つけて。More Business, More Issuesがこの業界の常。お客様の手元により良い製品を安全確実にお届けするために気を引き締めている次第です。

米本から、最後のひとこと

世界の三河屋/岡畑興産は、精力的に活動開始! 米本は2020年2月以来のポートランドへ渡航予定。化学品坂出はソウルへ。来月は、ポートランド、ソウルからの生レポをお届けする予定です!

文責: Hiroshi Yonemoto

取材協力: 犬塚りつ子、松井裕志、Joanna Lei.

PR

インドの アクリルアマイド結晶品

BR社と総代理店契約締結!

代替、2ndソースにぜひご検討を!

詳しくは
Click

どこ展
DOKOTEN

興産
ブログ

■ 編集後記

歯(し)生活

(社内報Gazette2022年6月号より転載)

マスク生活も2年を過ぎ、海外では続々とマスク解除がされています。一番厳しいと言われる日本でもだんだんとマスクを外す機会が増えてきました。私も外出時、人がいなければマスクを外し外気を思い切り吸い込んでいます。長いマスク生活で口角が下がり、ほうれい線も気になりますが、もうひとつ気になるのが「歯」です。歯並びが悪かったりステインがあつたり……。テレビなどで久しぶりに見るフルフェイスに、歯ってこんなに目立つんだと思いました。

そんなことを考えていたら政府が経済財政運営の指針いわゆる「骨太の方針」で、生涯を通じて歯科検診を行う「国民皆歯科検診」を検討するというニュースが流れていきました。上から目線で言われると、どこからかの圧力じゃないのとうがつた見方をしてしまうひねくれ者の私ですが、口腔ケアの大切さは実感しています。

「美しい歯」はインテリジェンスを表すこともあり、口腔ケア先進国と言われるアメリカやヨーロッパなどでは、歯並びが悪ければ幼い頃から歯列矯正をし、歯の定期健診とクリーニングを欠かさないといいます。一方日本では、歯科治療=痛いというイメージがあるためか、むし歯や歯周病がどうにもならなくなつた状況で歯医者に行くというパターンが多く、結局長く通院し、痛い思いをしなくてはならない羽目に陥るようです。

私はと言えば、コロナにもめげずに歯医者さんで3ヵ月に一度のクリーニングと定期健診を欠かさず、家では、寝起き、毎食後、就寝前の歯磨き、デンタルフロス、ウォーターピックでケア。歯ブラシは2週間ごとに交換し、コップもおひとり様仕様。おかげで虫歯も歯周病もありません。歯磨きが終わったら、歯のチェックついでに口角を上げるトレーニング(嚥下機能の低下も防げる)を鏡をみながら行っていますが、残念ながら、ほうれい線や顔のたるみ解消にはほど遠い状況です。

そろそろ対面営業も多くなりそうです。新庄ビッグボスの「キラキラ歯」ほどではないにしても、マスクを取って美しい歯でニコッと笑えば、成績アップ……かな？(kiki)

ニュースレター バックナンバーはこちら

 https://okahata.wixsite.com/oksitem/online_member/login.php

ホームページでパートナー登録いただければ、
ダウンロードしていただけます。

 https://okahata.co.jp/online_member/login.php

岡畠興産株式会社 ニュースレター／毎月発行

2022年6月20日号

発行：岡畠 典裕

岡 畠 興 産 株 式 会 社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL : 06-6251-8252 FAX : 06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2022.6.20 / Issue 023

© 2022 オカハタとアイデアと